

科目名	ビジネススキル 4							年度	2025
英語科目名	Business skills 4							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認テニスコーチ4		
【科目の目的】 様々なビジネス環境で対応できる能力を身に付け総合的な人間力を高めます。また、ビジネスマナーの理解やビジネス能力を深めるとともに、就職につながる知識などを身に付けます。									
【科目の概要】 社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。									
【到達目標】 A スクール・クラブとその違いについて理解することができる B 仮想スクールを設立し各セッションに分かれて行動することができる C 3か月分のレッスンカリキュラムを立案・作成することができる									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。社会の動きなどを概説しますが、自身でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えましょう。また授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	スクール・クラブとその違いについて理解することができる		スクール・クラブとその違いについてある程度理解することができる		スクール・クラブとその違いについて理解することができない				
到達目標 B	仮想スクールを設立し各セッションに分かれて行動することができる		仮想スクールを設立し各セッションに分かれてある程度行動することができる		仮想スクールを設立し各セッションに分かれて行動することができない				
到達目標 C	3か月分のレッスンカリキュラムを立案・作成することができる		3か月分のレッスンカリキュラムをある程度立案・作成することができる		3か月分のレッスンカリキュラムを立案・作成することができない				
【教科書】 必要に応じて適宜資料を配布します									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル4				年度	2025
英語表記		Business skills 4				学期	講義
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	スクールとクラブの違い①	スクールに必要な人材	1	テニススクール	テニススクールについて理解することができる	2	
			2	各セッション	スクールに必要なセッションを理解することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
2	スクールとクラブの違い②	クラブに必要な人材	1	テニスクラブ	テニスクラブについて理解することができる	2	
			2	各セッション	クラブに必要なセッションを理解することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
3	スクールとクラブの違い③	違いによる様々なニーズ	1	求められるニーズ	多種多様なニーズについて理解することができる	2	
			2	コーチ・スタッフ	多種多様な生徒について理解することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
4	スクールとクラブの違い④	①～③まとめ	1	まとめ	アクティブラーニング形式でテストを行い、状況別に応じた正しい対応をとることができる	2	
5	仮想スクール①	各セッションの設立と配置	1	各セッションの設立	スクールに必要なセッションを設立することができる	2	
			2	各セッションの配置	適材適所のセッションを配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
6	仮想スクール②	スケジュール管理	1	スケジュール作成	15週分のスケジュールを作成することができる	2	
			2	担当コーチ決定	適材適所で平等に配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
7	仮想スクール③	レッスン管理	1	メニュー作成の流れ	メニュー作成について理解することができる	2	
			2	チーフ・アシスタントの役割	スタッフを平等に配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
8	仮想スクール④	①～③まとめ	1	まとめ	アクティブラーニング形式でテストを行い、状況別に応じた正しい対応をとることができる	2	
9	レッスンカリキュラムの立案①	GOAL設定	1	GOAL設定	1クールのGOAL設定を作成することができる	2	
			2	各セッションの配置	適材適所のセッションを配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
10	レッスンカリキュラムの立案②	カリキュラムの作成	1	ウォーミングアップ	ケガの防止になるウォーミングアップを作成することができる	2	
			2	段階的指導方法	段階的に難易度を調整したメニューを作成することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
11	レッスンカリキュラムの作成①	カリキュラムの作成	1	クールダウン	ケガの防止になるクールダウンを作成することができる	2	
			2	段階的指導方法	段階的に難易度を調整したメニューを作成することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
12	レッスンカリキュラムの作成②	カリキュラムの作成	1	レッスンメニューの作成	レッスンカリキュラムに合わせて自身が担当するレッスンのメニューを作成することができる	2	
13	まとめ①	カリキュラムの修正と発展	1	レッスンメニューの修正と発展	レッスンカリキュラムに合わせて自身が担当するレッスンのメニューをブラッシュアップすることができる	2	
14	まとめ②	カリキュラムの修正と発展	1	レッスンメニューの修正と発展	レッスンカリキュラムに合わせて自身が担当するレッスンのメニューをブラッシュアップすることができる	2	
15	まとめ③	カリキュラムの完成	1	レッスンメニューの完成	GOAL設定が達成されるレッスンメニューを完成させることができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等